



2022年3月期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2022 FINANCIAL RESULTS

2022年5月13日
マツダ株式会社



本日の説明内容

■ 決算総括

■ 2022年3月期 実績

■ 2023年3月期 見通し

■ 2023年3月期の重点取り組み事項

中期経営計画 主要施策の成果

1. ブランド価値向上への投資

- 米国市場の販売力・ブランド力向上
- 米国新工場でのCX-50の生産開始
- ラージ商品群の市場導入
- トヨタ様との販売金融協業による残価向上

2. ブランド価値を低下させる支出の抑制

- 在庫回転向上によるキャッシュフロー創出
- 変動販促費の低減

3. 固定費/原価低減を加速し損益分岐点台数を低減

- もの造り領域：工場汎用設備、同体質生産、生産性の継続的改善
- 販売領域： 広告宣伝費の大幅な効率化



足場固めの3年間で
稼ぐ力の取り戻しに
一定の進捗

中期経営計画 主要施策の成果

1. ブランド価値向上への投資

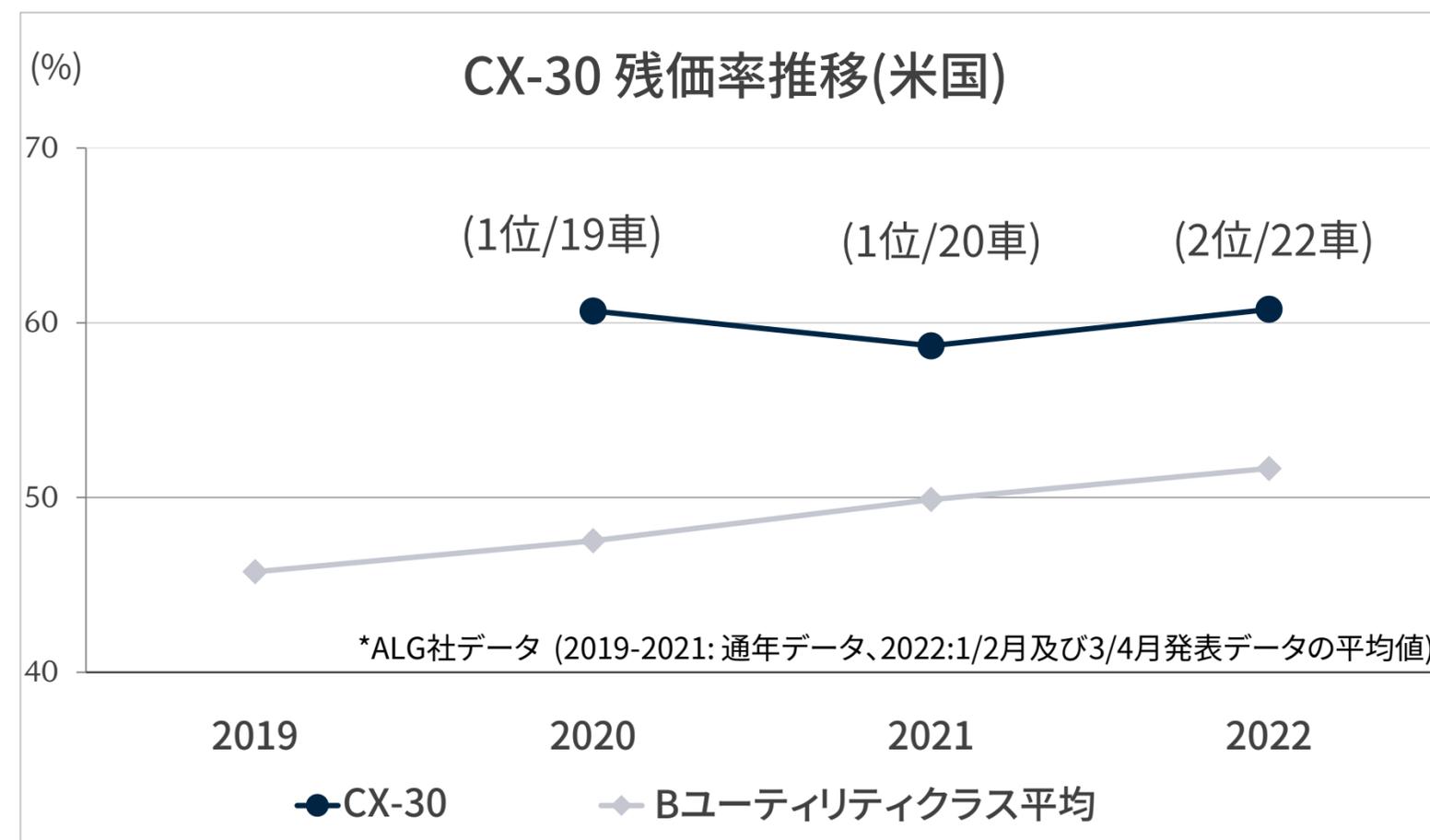
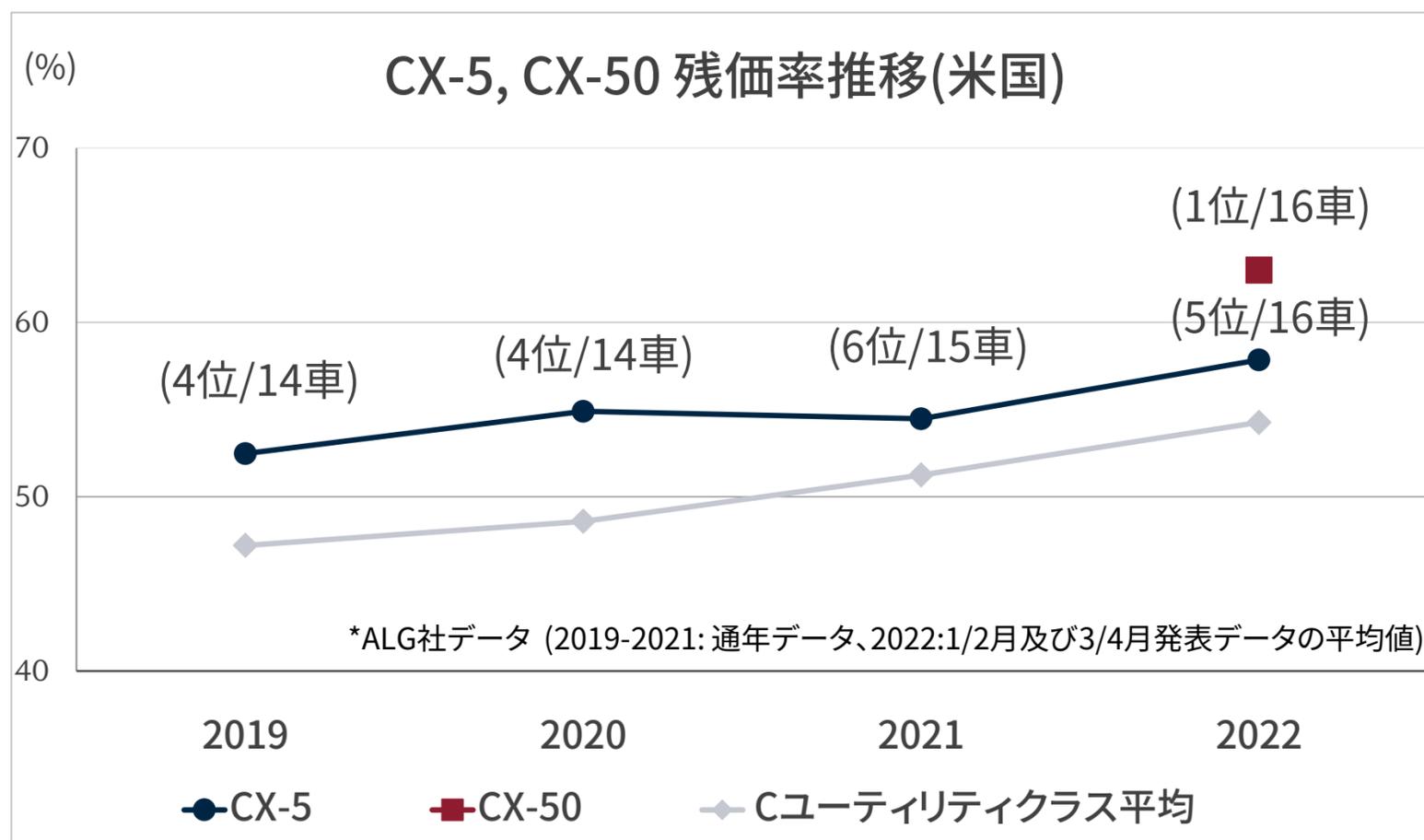
- 米国市場の販売力・ブランド力向上
- 米国新工場でのCX-50の生産開始
- ラージ商品群の市場導入
- トヨタ様との販売金融協業による残価向上



CX-50



CX-60



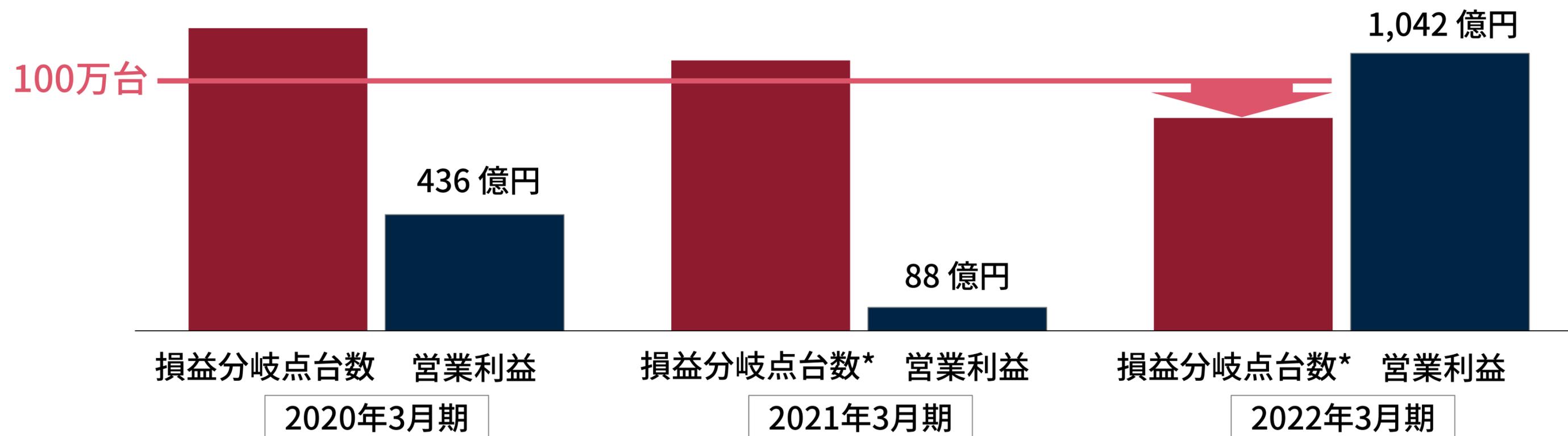
中期経営計画 主要施策の成果

2. ブランド価値を低下させる支出の抑制

- 在庫回転向上によるキャッシュフロー創出
- 変動販促費の低減

3. 固定費/原価低減を加速し損益分岐点台数を低減

- もの造り領域：工場汎用設備、同体質生産、生産性の継続的改善
- 販売領域： 広告宣伝費の大幅な効率化



足場固め期間の振り返り

- 厳しい経営環境のもと、
経営体質の強化と、稼ぐ力の取り戻しに一定の進捗
- 株主還元
2022年3月期の期末配当は1株当たり20円の予定

2022年3月期 実績

2022年3月期 通期 グローバル販売台数

- ・半導体供給不足やコロナ再拡大に伴う減産影響により、グローバルで対前年で販売台数減少
- ・一台でも多くお客さまにお届けするために全市場/全領域で取り組んだ結果、2月公表を上回る実績

(千台)	2021年3月期		2022年3月期		対前年増減		対2月公表増減		対20/3期増減	
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	
グローバル販売台数										
日本	176	149	-28	-16%	-8	-54	-27%			
北米	403	439	+36	+9%	+15	+42	+11%			
欧州	178	190	+11	+6%	0	-74	-28%			
中国	228	170	-58	-26%	-6	-42	-20%			
その他市場	301	303	+2	+1%	+11	-42	-12%			
合計	1,287	1,251	-37	-3%	+11	-168	-12%			
米国	295	332	+37	+13%	+10	+56	+20%			
オーストラリア	93	103	+11	+12%	+3	+13	+15%			
ASEAN	87	78	-9	-10%	+3	-25	-24%			

2022年3月期 通期 財務指標

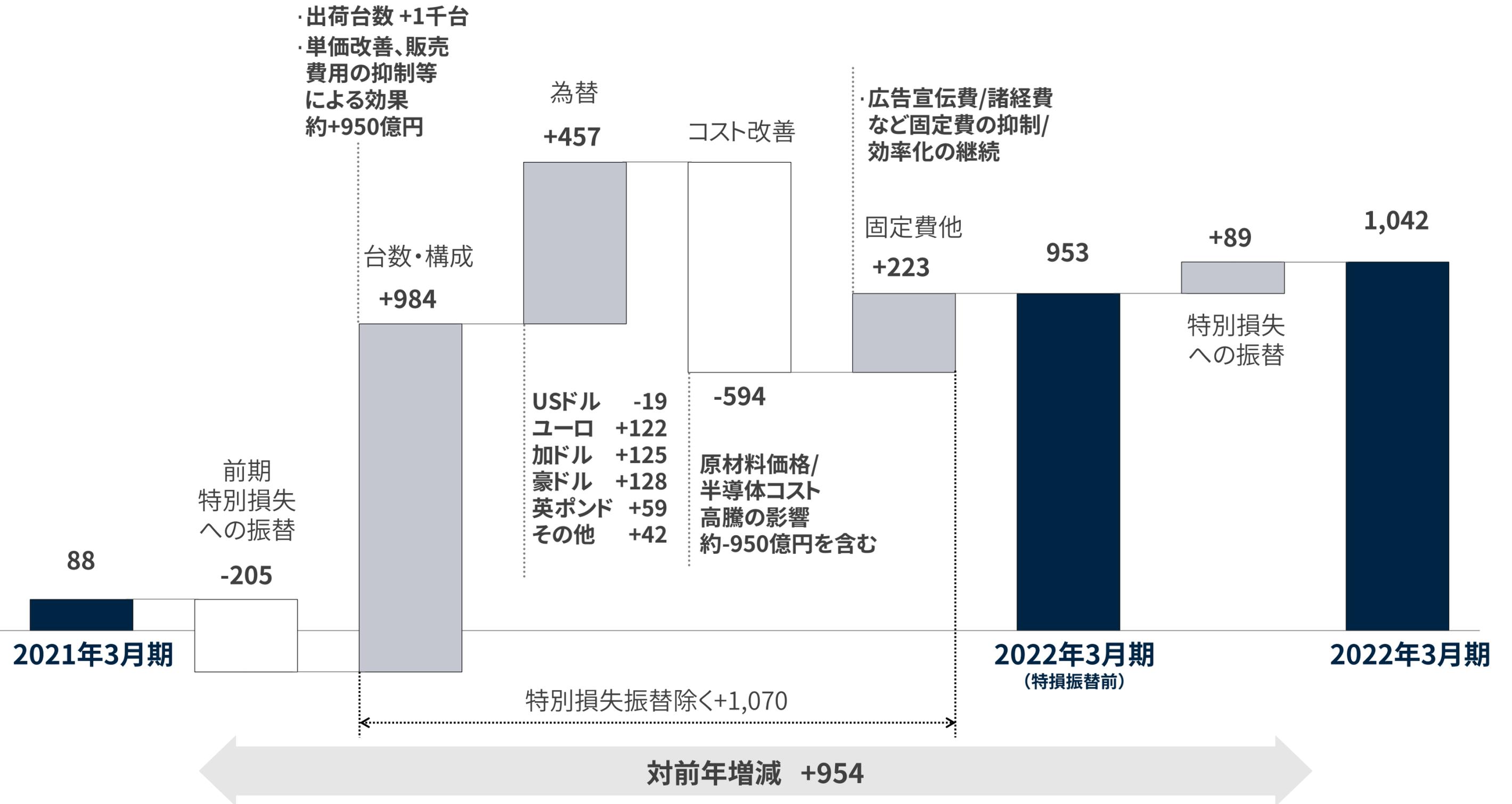
- 半導体の供給不足や原材料価格の高騰などにより足元の経営環境が悪化する中、計画達成に向けて着実な改善を積み上げた結果、出荷台数/利益ともに2月公表を上回る実績を達成

(億円)	2021年3月期		2022年3月期		対前年増減		対2月公表増減		対20/3期増減	
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期	
連結出荷台数 (千台)	990	991	+1	0%	+11	-241	-20%			
売上高	28,821	31,203	+2,382	+8%	+203	-3,100	-9%			
営業利益	88	1,042	+954	-	+222	+606	+139%			
経常利益	283	1,235	+952	+337%	+445	+704	+133%			
税引前利益	22	1,124	+1,102	-	+444	+631	+128%			
当期純利益	-317	816	+1,133	-	+266	+695	+572%			
売上高営業利益率	0.3 %	3.3 %	+3.0 pts		+0.7 pts	+2.0 pts				
EPS (円)	-50.3	129.5	+179.8		+42.2	+110.2				
為替レート (円)										
USDドル	106	112	+6		+1	+4				
ユーロ	124	131	+7		0	+10				

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

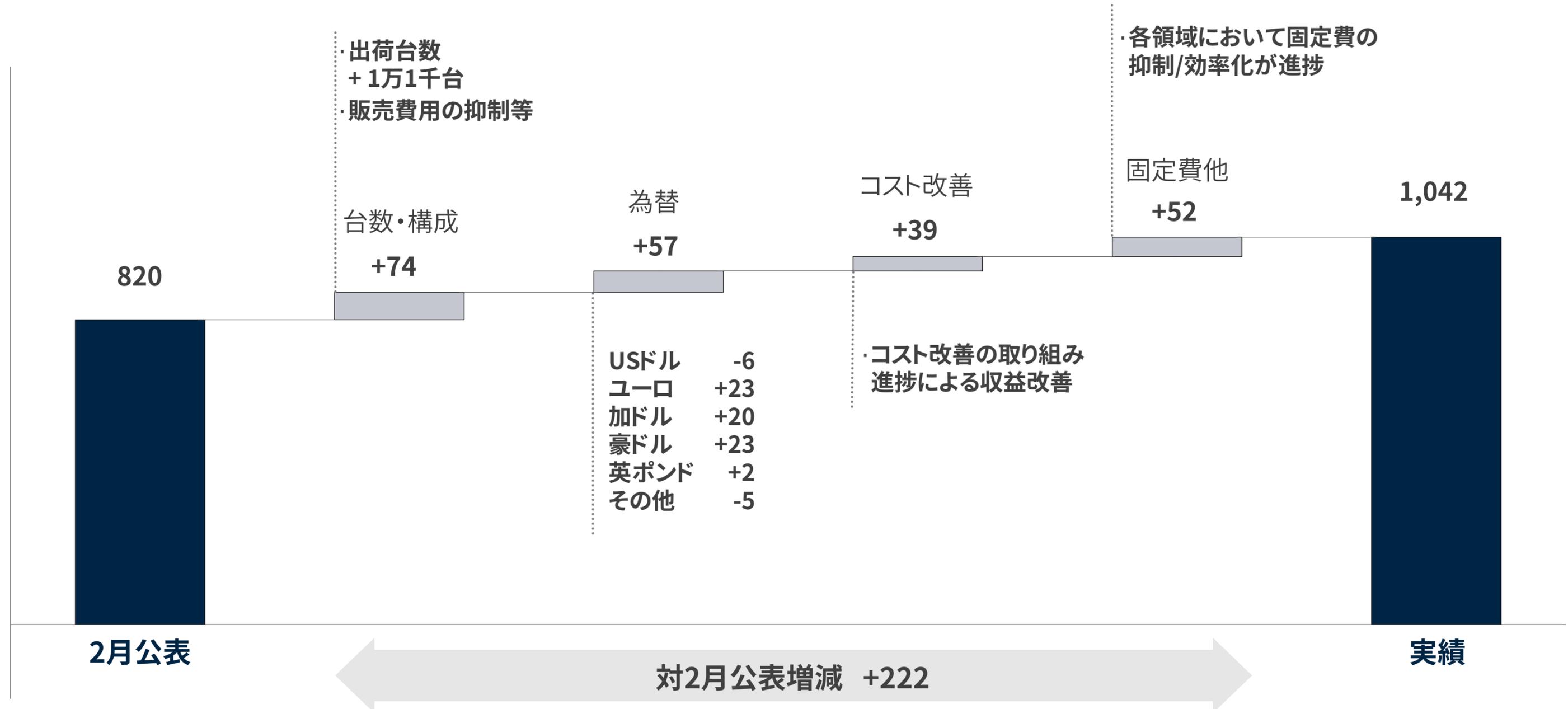
2022年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



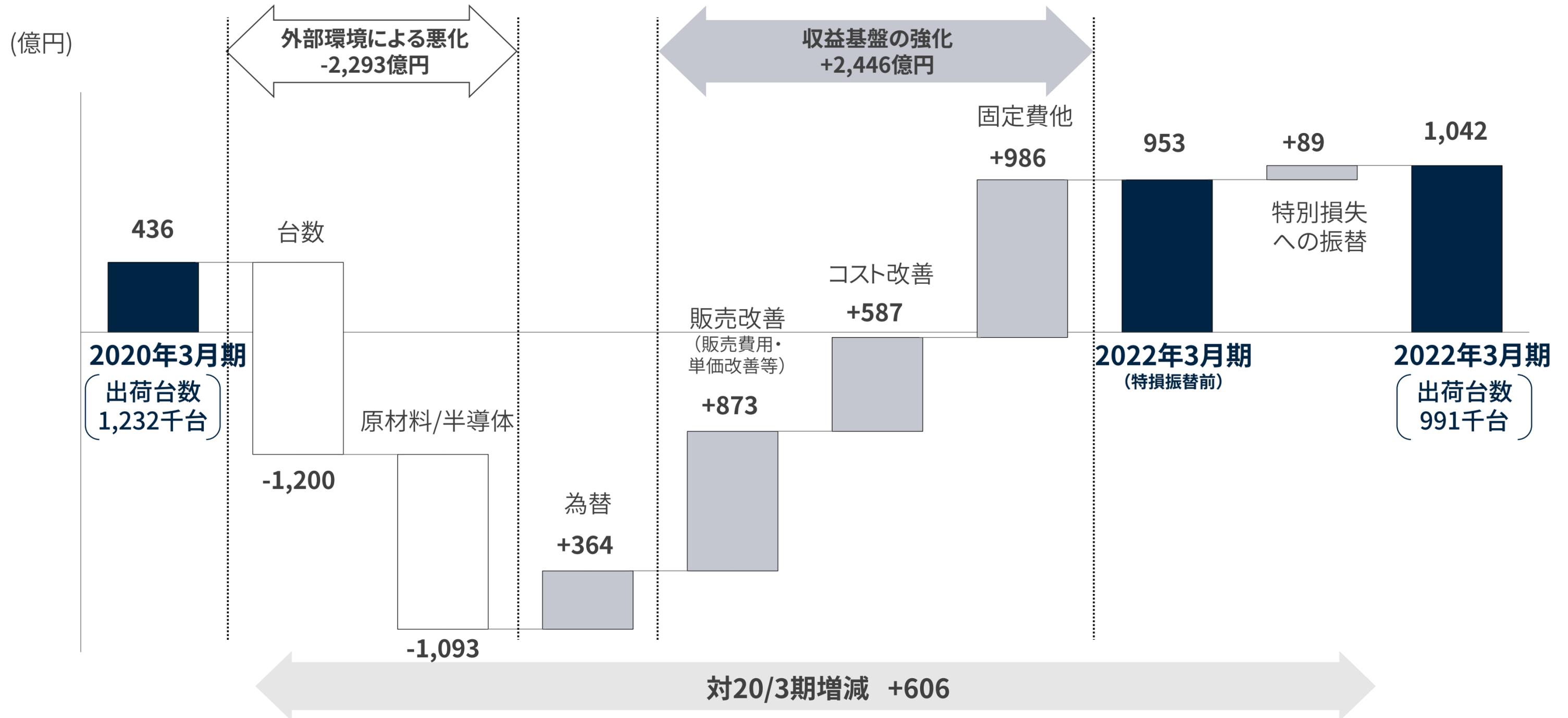
2022年3月期 通期 営業利益変動要因(対2月公表比較)

(億円)



2022年3月期 通期 営業利益変動要因(対20/3期比較 悪化要因と改善要因)

- 販売の質的改善やコスト改善、固定費の徹底的な効率化などにより収益体質を強化
- 損益分岐点台数の低減が進捗し、20/3期対比で台数減少ながら増益を達成



2023年3月期 見通し

2023年3月期 通期 グローバル販売台数

- ・販売の質的改善の継続強化、新商品CX-50・CX-60の導入によりさらなる台数成長を加速
- ・計画達成に向けて、生産・販売・在庫のモニター継続

(千台)	2022年3月期		2023年3月期		対前年増減	
	通期	通期	通期	通期	通期	通期
グローバル販売台数						
日本	149	191	+42	+28%		
北米	439	483	+44	+10%		
欧州	190	190	0	0%		
中国	170	170	0	0%		
その他市場	303	316	+12	+4%		
合計	1,251	1,349	+98	+8%		
米国	332	371	+40	+12%		
オーストラリア	103	103	0	0%		
ASEAN	78	86	+8	+10%		

2023年3月期 通期 財務指標

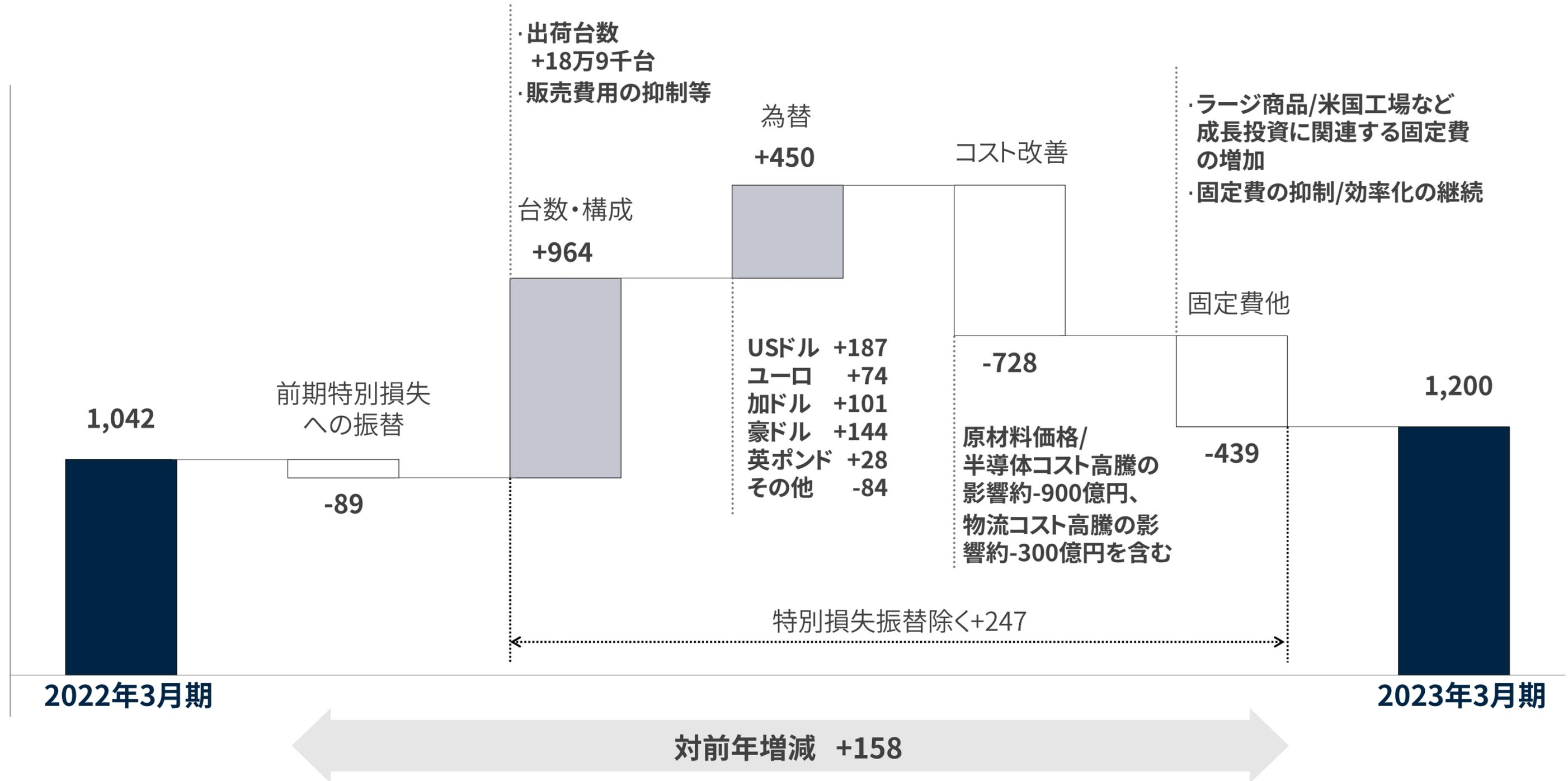
- ・強固な収益構造を維持しながら、外部環境変化やリスクに機敏に対応し、中期経営計画で掲げた本格的成長を実現する

(億円)	2022年3月期		2023年3月期	
	通期	通期	対前年増減	
連結出荷台数 (千台)	991	1,180	+189	+19%
売上高	31,203	38,000	+6,797	+22%
営業利益	1,042	1,200	+158	+15%
経常利益	1,235	1,050	-185	-15%
税引前利益	1,124	1,000	-124	-11%
当期純利益	816	800	-16	-2%
売上高営業利益率	3.3 %	3.2 %	-0.1 pts	
EPS (円)	129.5	127.0	-2.5	
為替レート (円)				
USD	112	123	+11	
ユーロ	131	133	+3	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

2023年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



2023年3月期の重点取り組み事項

2023年3月期の重点取り組み事項

1. スピード感を持った経営

2. グリップを利かせた経営

3. 新商品の導入成功と新工場の安定稼働

4. 人への投資と育成

2023年3月期の重点取り組み事項

1. スピード感を持った経営

- サプライチェーンの継続改革
- 構造改革の加速

2. グリップを利かせた経営

- ブランド価値向上と、あらゆる領域の原価低減活動の継続強化によりネットキャッシュを改善
- 損益分岐点台数の低減に向けた取り組みを継続強化

2023年3月期の重点取り組み事項

3. 新商品の導入成功と新工場の安定稼働

【CX-50】

- 米国新工場にて1月から生産を開始
- 米国では4月から販売を開始



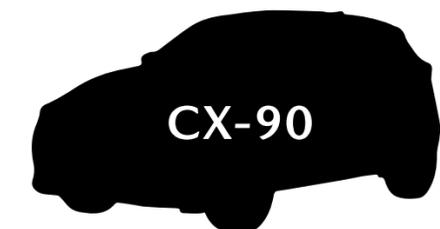
【CX-60】

- 3月に欧州で公開し、4月には日本でも公開
- 段階的にグローバルに販売を開始



【CX-90】

- 北米向けに今期中に生産を開始する計画



2023年3月期の重点取り組み事項

4. 人への投資と育成

■成長のカギは従業員の活躍最大化

- 定年延長制度の導入
- 有期間接従業員の正規社員への転換
- 制御・電動化領域へのスキルシフトに向けたリスキリング、デジタル教育、キャリア採用の強化

株主還元

2023年3月期の年間配当予想は1株当たり35円
(中間配当15円、期末配当20円)



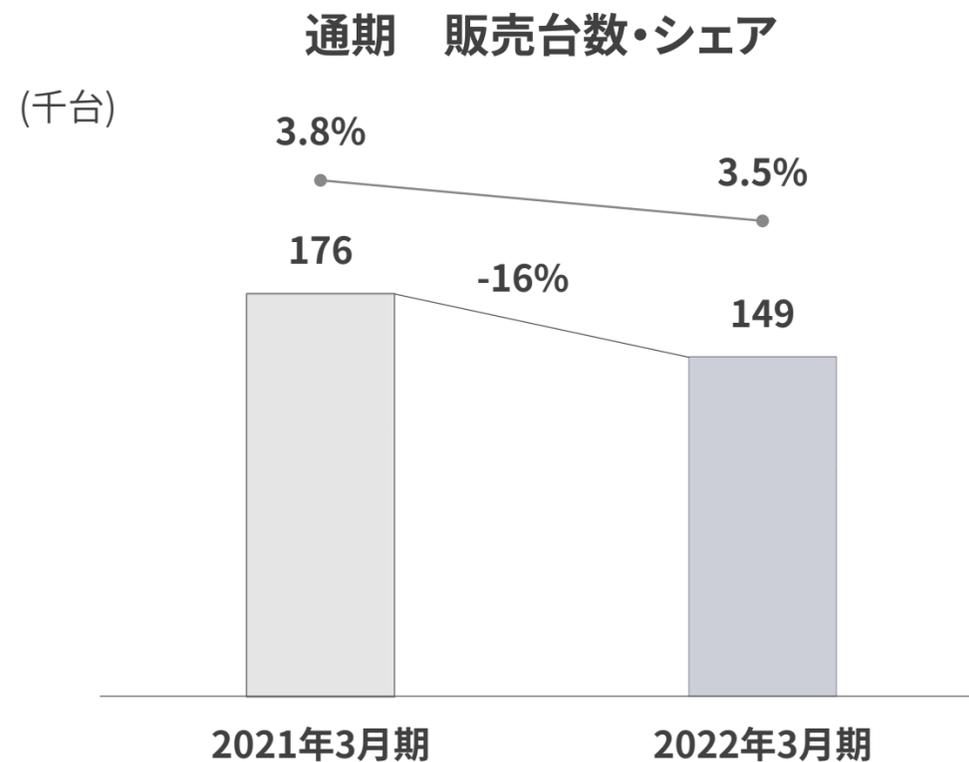
mazda

添付

日本



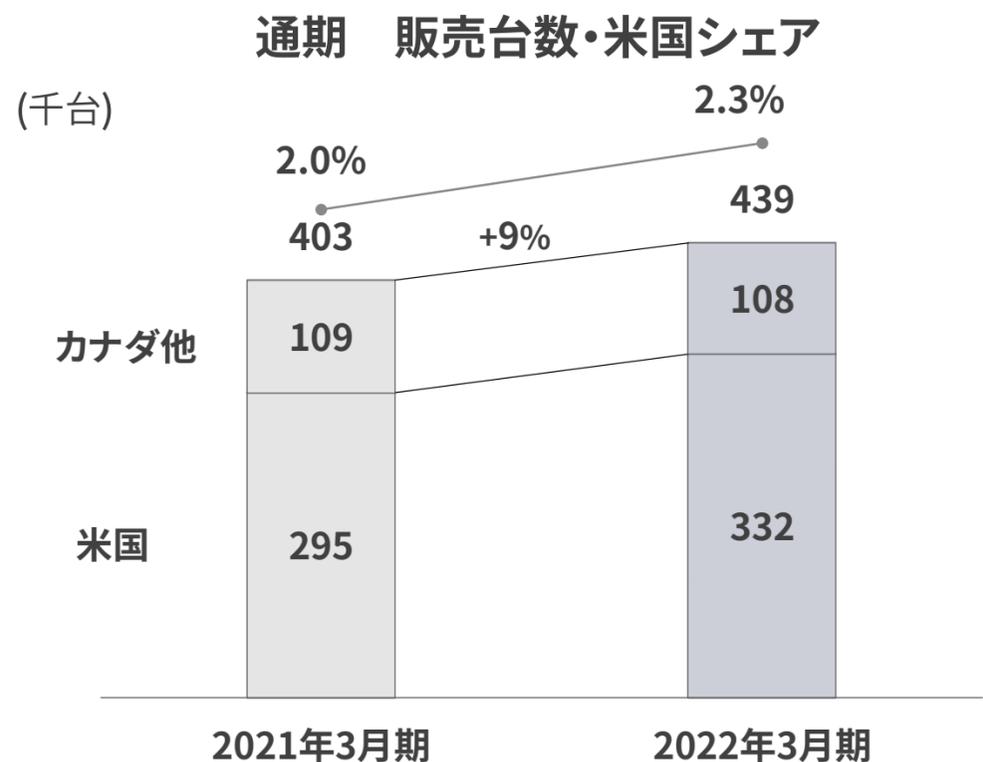
- 販売台数は、対前年16%減の14万9千台
- シェアは対前年0.3pts減の3.5%、登録車シェアは同0.4pts減の4.5%
- 供給不足により販売台数に制約
- 主要モデルの商品改良を継続的に実施
CX-5/ロードスターが特別仕様車を中心とした好調な販売により、前年を上回る販売台数



北米



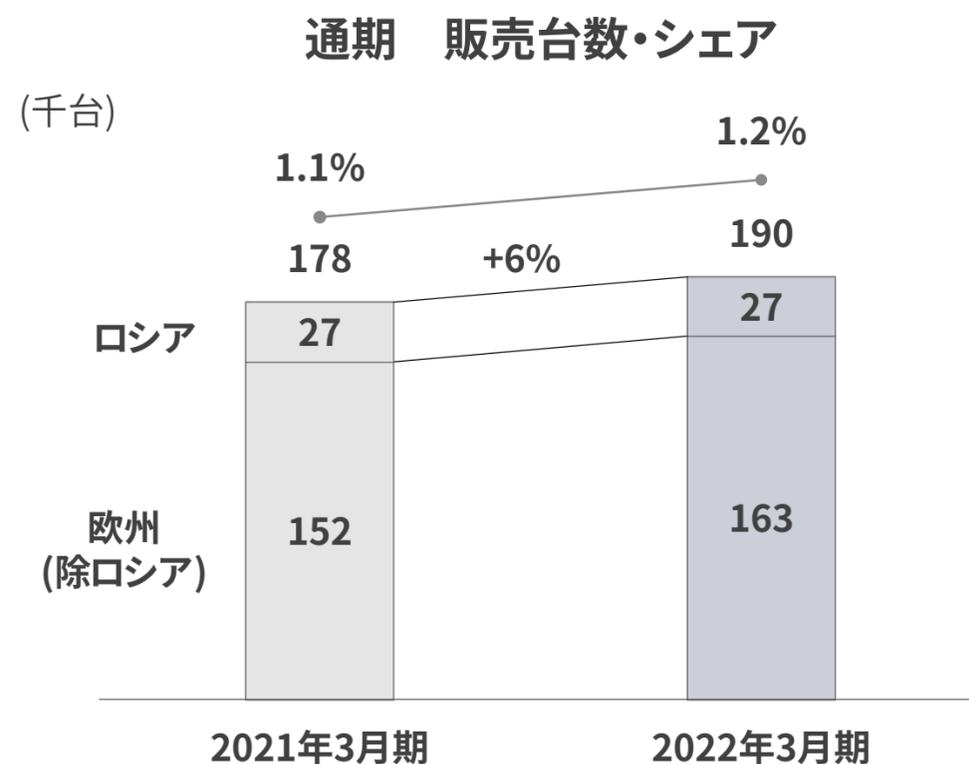
- 販売台数は、対前年9%増の43万9千台
- 米国:対前年13%増の33万2千台
 - シェアは対前年0.3pts増の2.3%
 - CX-5/CX-9/CX-30が好調を継続
 - 在庫および販売費用の効率的なオペレーションを継続強化
 - 2022年1月より米国新工場で北米向け新型クロスオーバーSUV「CX-50」を量産開始
2022年4月より販売開始
- カナダ:対前年2%減の6万台
- メキシコ:対前年1%減の4万6千台



欧州

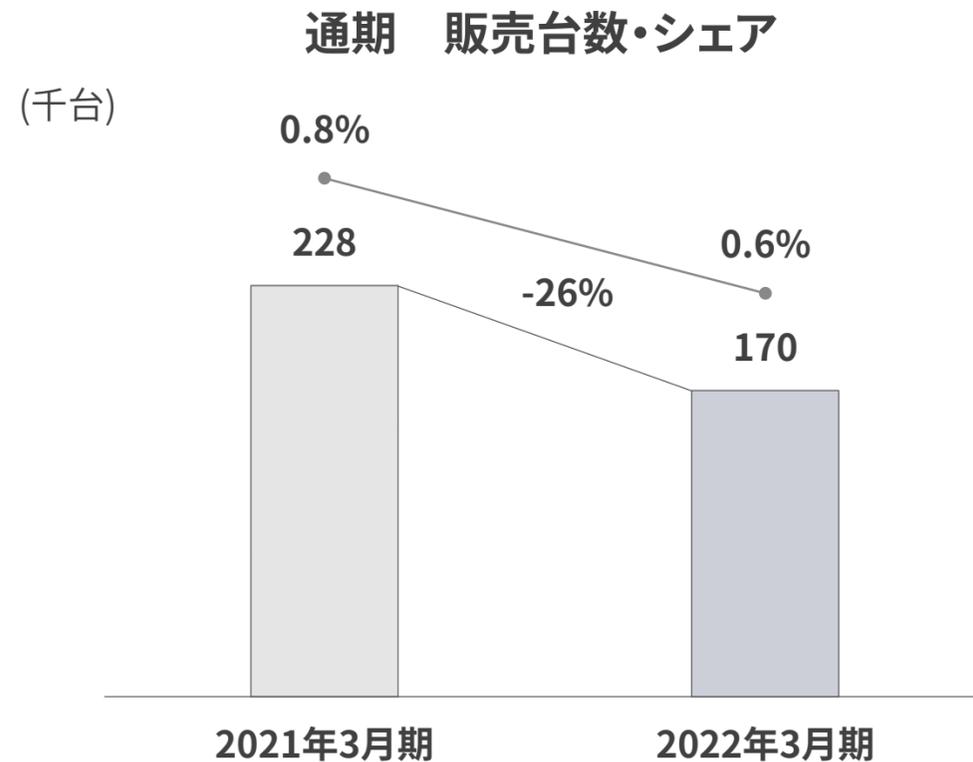


- 販売台数は、対前年6%増の19万台
- シェアは対前年0.1pts増の1.2%
- CX-30は堅調な販売を継続
- 2022年3月よりMAZDA2 Hybridを導入
- 主要国の販売
 - ドイツ:前年同水準の4万1千台
 - 英国:対前年31%増の2万7千台
 - ロシア:対前年1%減の2万7千台





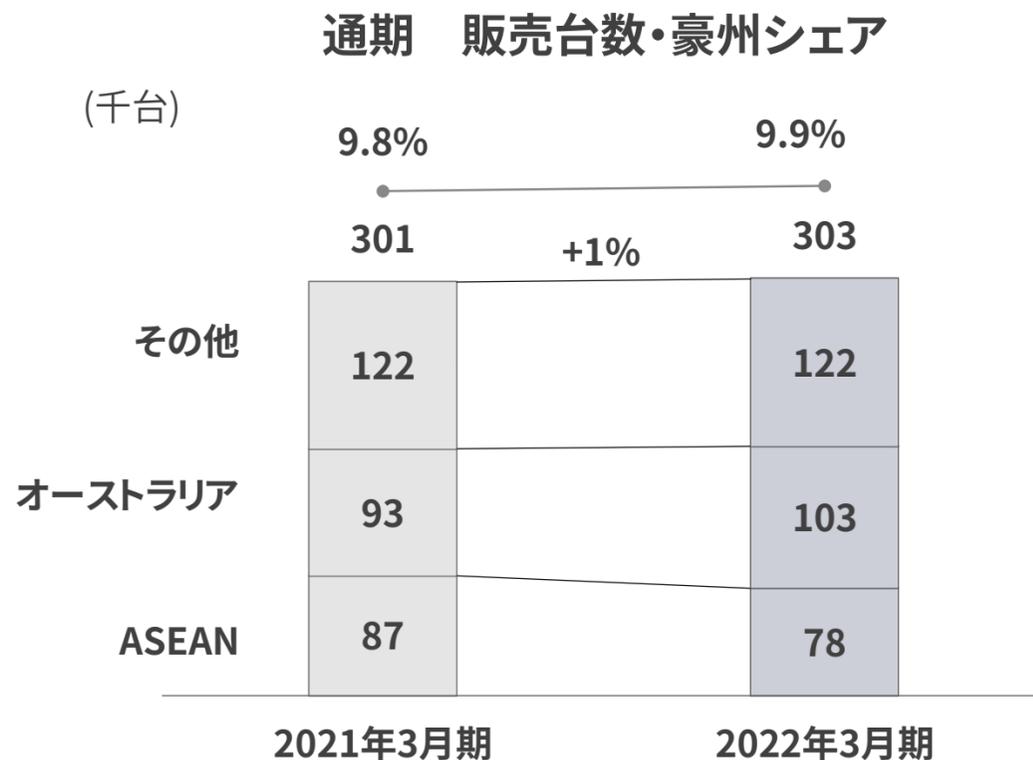
- 販売台数は、対前年26%減の17万台
- シェアは対前年0.2pts減の0.6%
- CX-4/CX-5/MAZDA6などのモデルが対前年で台数減少
- MAZDA3の販売は堅調に推移、前年に続き約9万台の販売を継続



その他市場

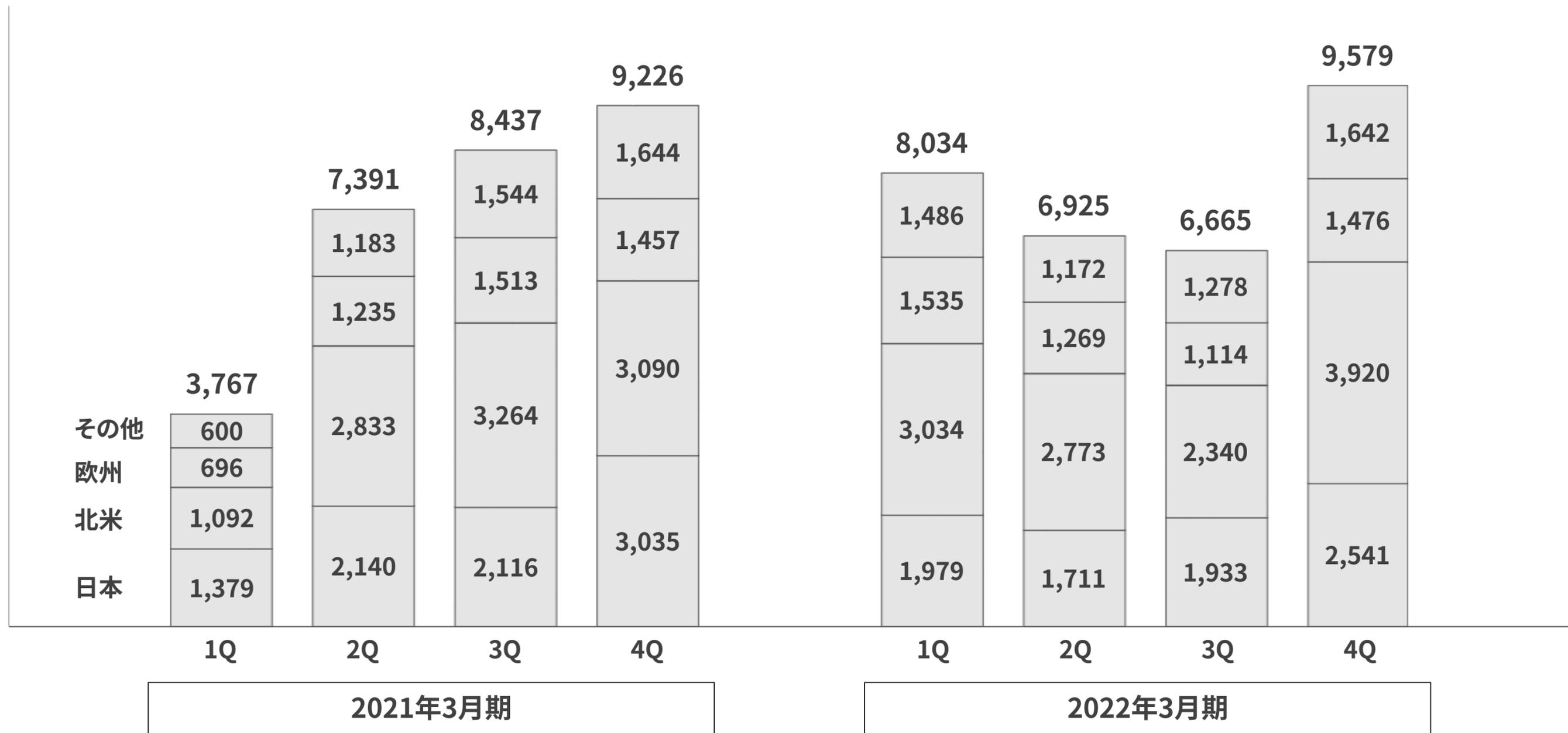


- 販売台数は、対前年1%増の30万3千台
- オーストラリア:対前年12%増の10万3千台
 - シェアは対前年0.1pts増の9.9%
 - 好調なクロスオーバーSUV、BT-50などが販売を牽引し、対前年で台数増
- ASEAN:対前年10%減の7万8千台
 - タイ:対前年11%減の3万6千台
 - ベトナム:対前年13%減の2万3千台
 - ASEANの第4四半期は対前年で台数増
全需が回復に転じ、CX-3/CX-5が販売を牽引



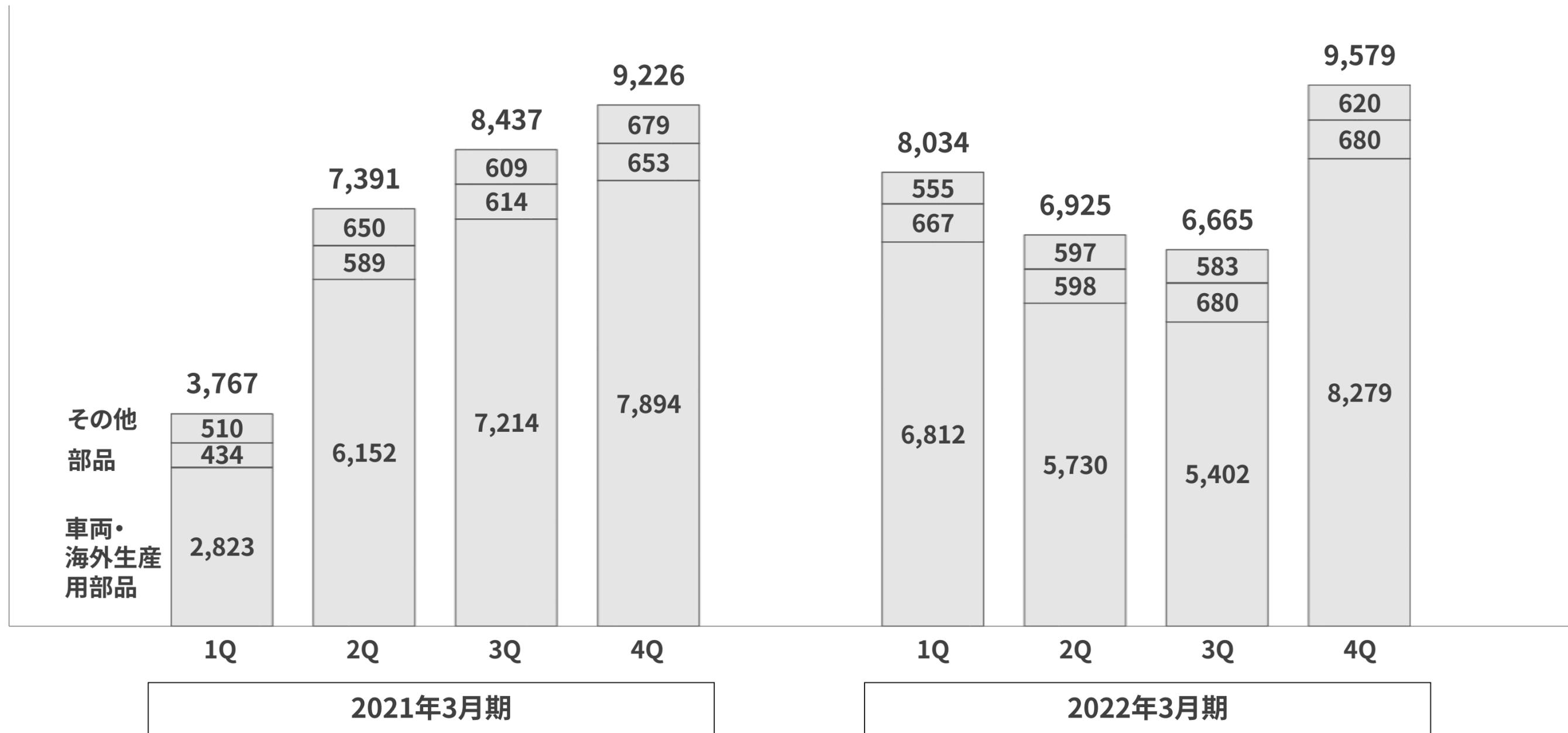
売上高 所在地別

(億円)



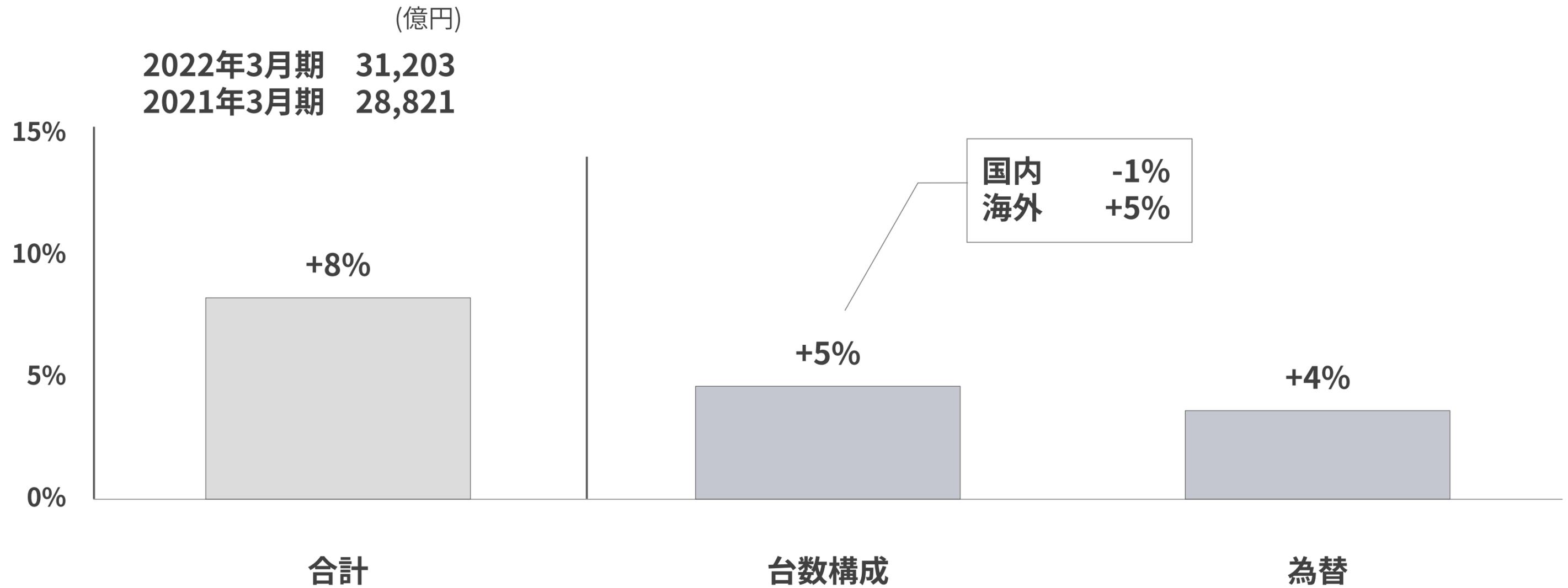
売上高 製品別

(億円)



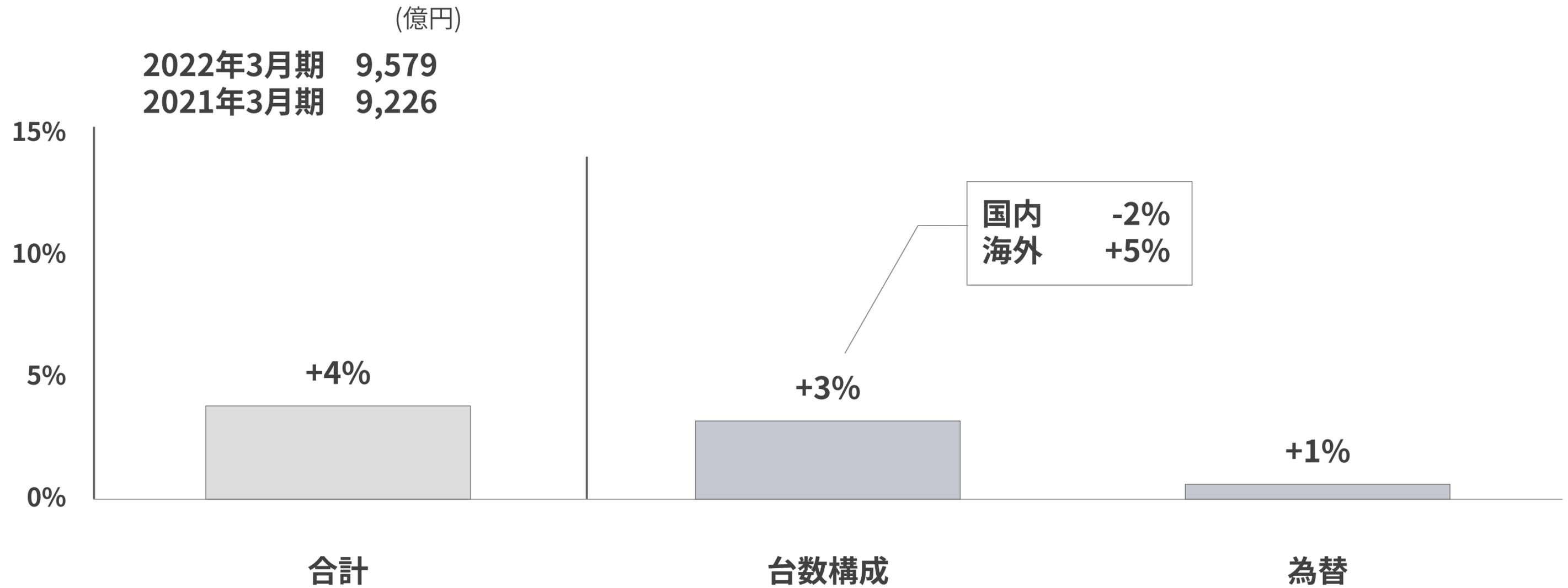
売上高変動内訳(通期)

2022年3月期 通期 対前年比較



売上高変動内訳(3ヵ月)

2022年3月期 第4四半期 対前年比較



キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	対前期末増減
	通期	通期	
営業キャッシュ・フロー	1,201	1,892	-
投資キャッシュ・フロー	-789	-1,362	-
フリー・キャッシュ・フロー	412	529	-
現金及び現金同等物	7,388	7,404	+16
有利子負債	7,559	6,808	-751
ネット・キャッシュ	-171	596	+767
総資産	29,174	29,681	+507
自己資本	11,817	13,011	+1,194
自己資本比率	41 %	44 %	+3 pts

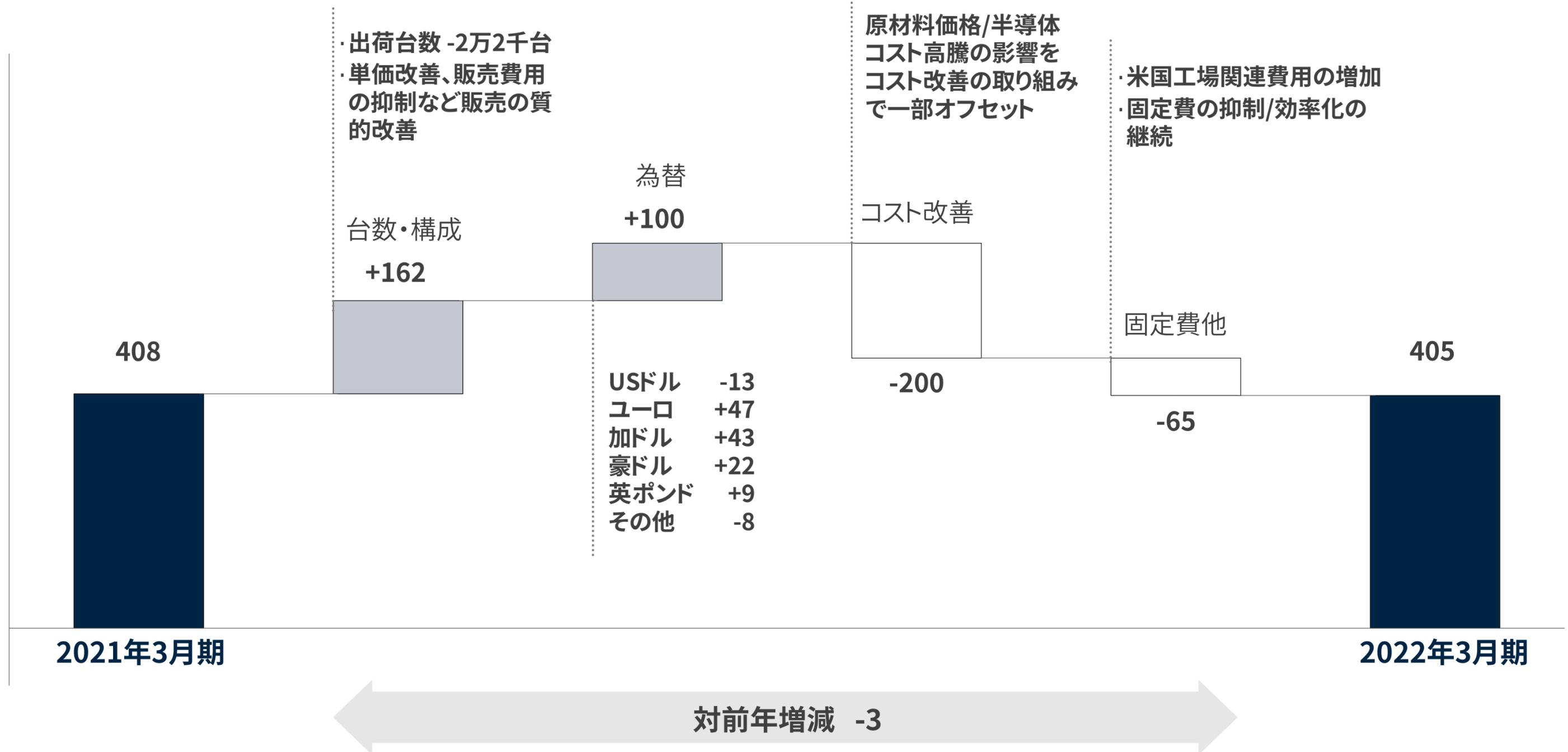
2022年3月期 第4四半期 財務指標(3ヵ月)

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	対前年	
	第4四半期	第4四半期	第4四半期	
連結出荷台数 (千台)	325	303	-22	-7%
売上高	9,226	9,579	+353	+4%
営業利益	408	405	-3	-1%
経常利益	595	639	+44	+8%
税引前利益	567	615	+48	+8%
当期純利益	465	522	+57	+12%
売上高営業利益率	4.4	4.2 %	-0.2 pts	
EPS (円)	74.0	82.8	+8.8	
為替レート (円)				
USDドル	106	116	+10	
ユーロ	128	130	+3	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

2022年3月期 第4四半期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



2023年3月期 通期 グローバル販売台数及び連結出荷台数

(千台)	2022年3月期	2023年3月期	対前年増減	
グローバル販売台数	通期	通期	通期	
日本	149	191	+42	+28%
北米	439	483	+44	+10%
欧州	190	190	0	0%
中国	170	170	0	0%
その他市場	303	316	+12	+4%
合計	1,251	1,349	+98	+8%

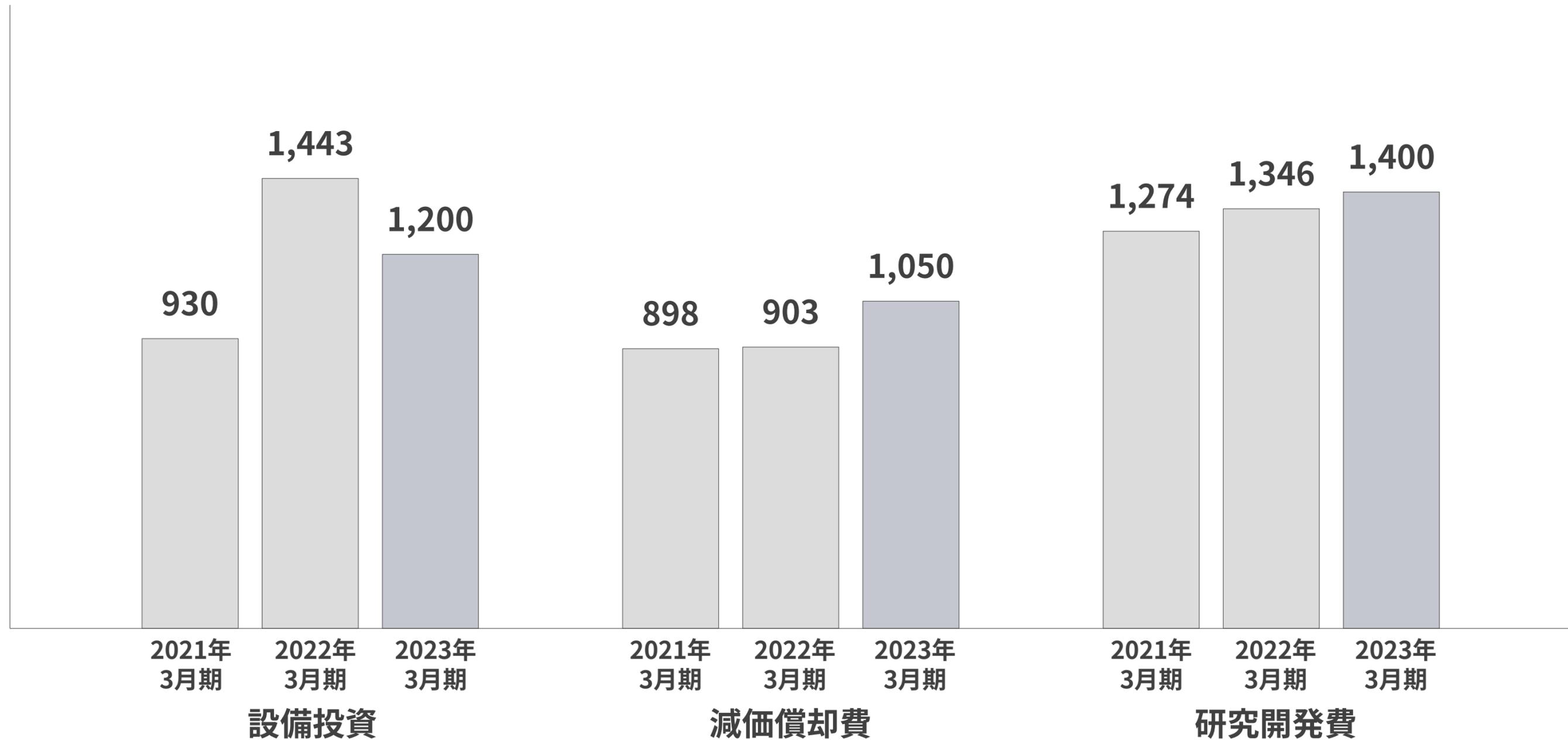
(千台)	2022年3月期	2023年3月期	対前年増減	
連結出荷台数	通期	通期	通期	
日本	152	173	+21	+14%
北米	386	489	+104	+27%
欧州	169	187	+18	+10%
その他市場	284	331	+46	+16%
合計	991	1,180	+189	+19%
米国	298	374	+76	+25%

為替レート

(円)	2022年3月期			2023年3月期	対前年増減
	上期	下期	通期	通期	
USDドル	110	115	112	123	+11
ユーロ	131	130	131	133	+3
カナダドル	88	91	90	97	+7
オーストラリアドル	83	84	83	89	+6
英ポンド	152	155	154	159	+5

主要データ

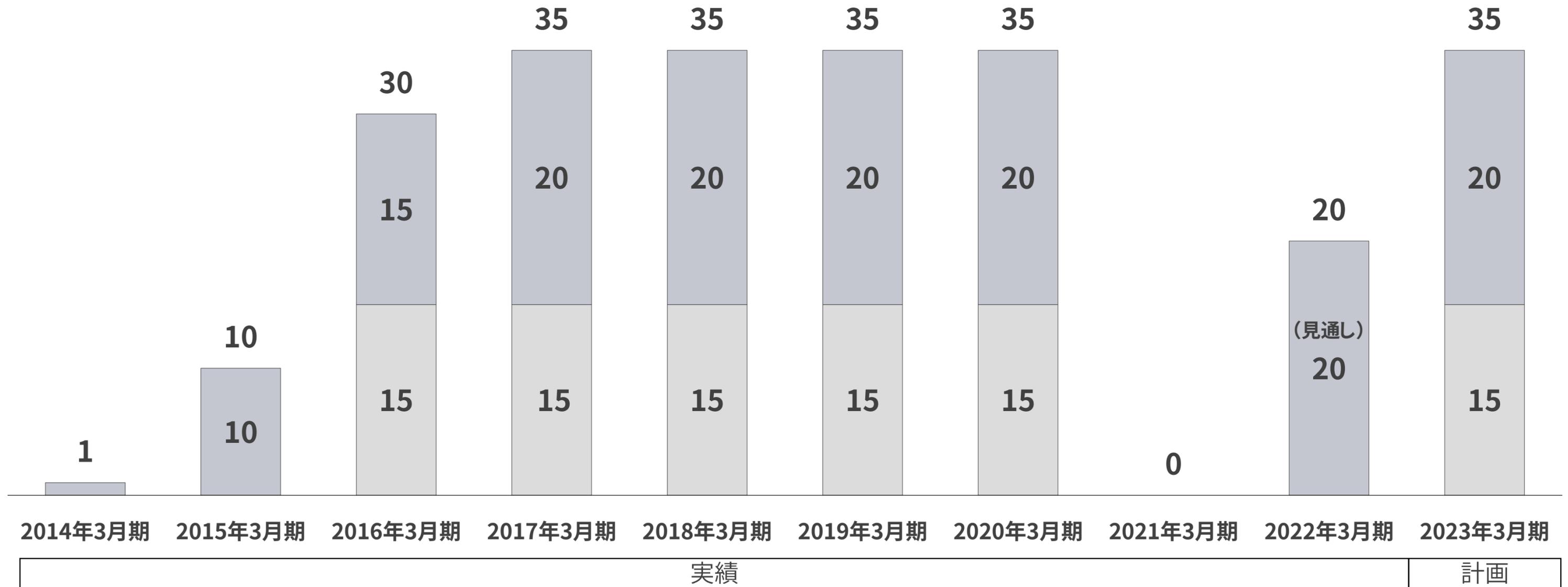
(億円)



配当について

一株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末



注) 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っております。
一株当たり配当金は各年度における実際の配当金額を表しています。

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。



mazda